令和7年度認可外保育施設質問及び回答（令和7年4月23日追加分）

質問内容	回答
<p>「4 研修の内容（1）」表について、保育実務者向けの項目に「救命手当（実技）」と記載があるが、集合研修ではなく、実技が収録されたeラーニング講座という認識でよいか。</p>	<p>集団研修方法（救命救急）については、オンライン（e-ラーニング）または実地での研修のいずれとするかは、応募者が自由に設定のうえご提案いただきますようお願いいたします。</p>
<p>「4 研修の内容（1）」表について、「救命手当（実技）」について、「（日赤・幼児安全法講習等）」と記載されているが、日赤・幼児安全法講習等に準ずる内容とすべきなのか、または、BLS、消防署の応急手当講習等の内容でもよいか。</p>	<p>本県としては「救命手当（実技）」の内容は日赤・幼児安全法講習を想定しておりますが、同等の内容であればその他の講習による提案は可能です。</p>
<p>令和6年度の実施実績を教えてください。 （申込者数、受講者数、修了者数、対象施設数等）</p>	<p>令和6年度の実績はそれぞれ以下の通りです。 申込者数 : 245名 受講者数 : 238名 修了者数 : 227名 対象施設数 : 326施設</p>
<p>「5 委託内容④」について、「受講票の発送」と記載されているが、メールでの送付も可能か。 併せて「5 委託内容⑥」について、「研修終了証の作成、研修修了者への送付」と記載されているが、こちらは電子発行や電子データの送付でよいか。</p>	<p>受講票について、受講者がメールで受信可能な場合はメールで受講票を送付することは差し支えありませんが、受講者がメールで受信できない場合や郵送での送付を希望する場合は、郵送で対応いただくこととなります。 また、研修修了証の作成及び研修修了者への送付についても受講票と同様、電子発行や電子データで送付することを妨げるものではございませんが、修了者がメールで受信できない場合や郵送での送付を希望する場合は、郵送で対応いただくこととなります。</p>